



| | |
|--------------|---|
| Title | 平成元年度事業報告 |
| Author(s) | |
| Citation | 癌と人. 1990, 17, p. 16-17 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/23991 |
| rights | |
| Note | |

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

平成元年度事業報告

(財) 大阪癌研究会

1. 一般学術研究助成について

本年度も癌に関する学術研究を奨励助成するため公募したところ全国から31名の応募者があった。

一般学術研究助成選衡委員会(委員長山村雄一大阪大学名誉教授他4委員で構成)で慎重に検討され、理事会で決定された助成対象者は別紙Ⅰのとおり10名であった。

2. 乳がん検診

乳がん集団検診では吹田、豊中、池田、箕面、茨木、摂津、大東、松原、藤井寺、羽曳野、河南、豊能、八尾、東大阪の14市町の住民の方々及び一部の市教職員について行い総受検者数15,650名、要精検者数435名でそのうち乳がんと判ったのは20名(平成2年3月末現在)であった。

3. 大腸がん検診

便潜血反応検査による大腸がん集団検診については大阪商工会議所、大阪対がん協会、衛生婦人団体、社会福祉協会及び茨木、大東、河南の3市町の方々及び個人の方々について行い総受検者数8,266名、要精検者数512名のうち、大腸がんと判ったのは9名(平成2年3月末現在)であった。

4. がんの知識普及活動について

「癌と人」の会誌16号を刊行し配布した。また「乳がんの自己診断のすすめ」及び「大腸がん検診のすすめ」等のパンフレットを発行した。

別紙 I

平成元年度「一般学術研究助成金」助成対象者

| 氏 名 | 同 所 属 機 関 | 研 究 テ ー マ |
|---------|---------------------------|--|
| 奥 村 康 | 順天堂大学医学部免疫学研究室 | キラー細胞による癌細胞融解機序の解析 |
| 阪 口 薫 雄 | 佐 賀 医 科 大 学 | Bリンパ腫細胞特異的に発現する遺伝子クローンの解析 |
| 宮 崎 純 一 | 熊本大学医学部附属遺伝医学研究施設 | NODマウスにおける脾島B細胞腫瘍の誘導とその解析 |
| 多 田 昭 雄 | 大阪大学医学部小児科 | 小児造血器腫瘍のlineage診断腫瘍細胞の遺伝子レベルでの解析 |
| 楠 見 明 弘 | 東京大学教養学部基礎科学科第一 | がん細胞の接着と転移の分子機構 |
| 原 真 一 | 慶応義塾大学医学部外科 | E wing肉腫に対する単クローン抗体の確立 一本腫瘍に対する基礎的研究および臨床応用について |
| 河 合 俊 明 | 防衛医科大学校病理学第一講座 | 肺癌及び前癌病変における癌糖鎖抗原に対する免疫組織化学的及び生化学的研究 |
| 平 井 莞 二 | 東京医科歯科大学難治疾患研究所ウイルス免疫疾患部門 | EBウイルス関連腫瘍細胞のウイルスゲノム解析とEBNAZの機能 |
| 小 山 捷 平 | 筑波大学臨床医学系内科 | 人癌におけるT細胞因子による抗腫瘍免疫の調節機構に関する研究 |
| 直 江 知 樹 | 名古屋大学医学部附属病院分院 | B細胞系腫瘍におけるc-myc蛋白の発現異常の解析 |

以上